

# bingo!CMS core

## v1.1 (v1.1a)からv1.2へのアップデート方法

### 1. データベースのバックアップ

アップデートを実施する前に必ずデータベースのバックアップをお取りください。

#### コマンドを利用してバックアップを取る

sshやtelnetを利用できるサーバの場合、以下のコマンドによりバックアップを取ります。

【PostgreSQLの場合】

`pg_dump -u DBアクセスユーザ名 -p パスワード データベース名 > バックアップファイル名`

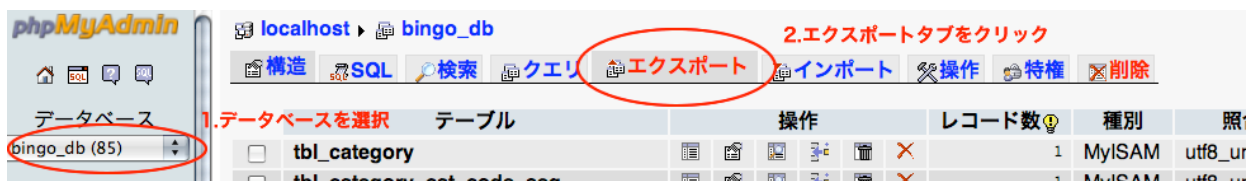
【MySQLの場合】

`mysqldump -u DBアクセスユーザ名 -p パスワード データベース名 > バックアップファイル名`

#### phpMyadmin、phpPgadminを利用してバックアップを取る

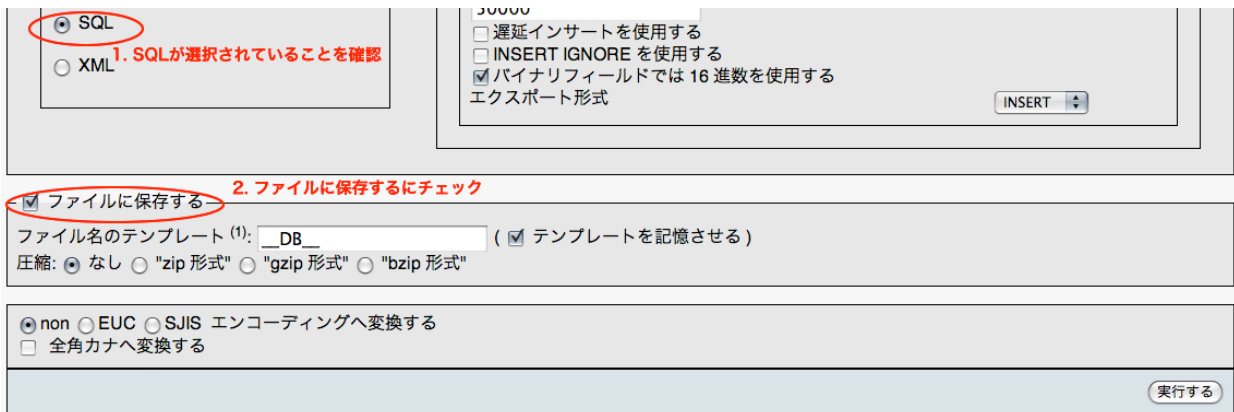
mysqladmin、またはpgsqladminといったツールがある場合は以下の方法でバックアップを取ることが可能です。以下ではphpMyadminでの説明を致しますが、phpPgadminの場合も手順は同様となります。

1. phpMyadminにログイン後、ページ左「データベース」プルダウンメニューにてご使用のデータベースを選択し、図の「エクスポート」タブをクリックします。



2. 次にエクスポート画面にて形式をSQL、そしてページ下部の「ファイルに保存する」にチェックを入れ実行します。

▼ファイル保存ダイアログが表示されますので適当なファイル名にて保存してください。



SQL  
XML

1. SQLが選択されていることを確認

遅延インサートを使用する  
INSERT IGNORE を使用する  
バイナリフィールドでは 16 進数を使用する  
エクスポート形式

INSERT

2. ファイルに保存するにチェック

ファイル名のテンプレート (1): \_\_DB\_\_ (テンプレートを記憶させる)

圧縮: なし "zip 形式" "gzip 形式" "bzip 形式"

non EUC SJIS エンコーディングへ変換する  
全角カナへ変換する

実行する

## bingo!CMS v1.1(v1.1a)ファイルのバックアップ

FTPでサーバーへ接続し、以下のディレクトリ、及びファイルをダウンロードし保存します。

1. /global-image/header/
2. /global-image/page/
3. /global-image/units/
4. /global-image/usr-prof/
5. /app/etc/installcnf.php
6. /usr-data/template/

保存後、以下のディレクトリを削除します。

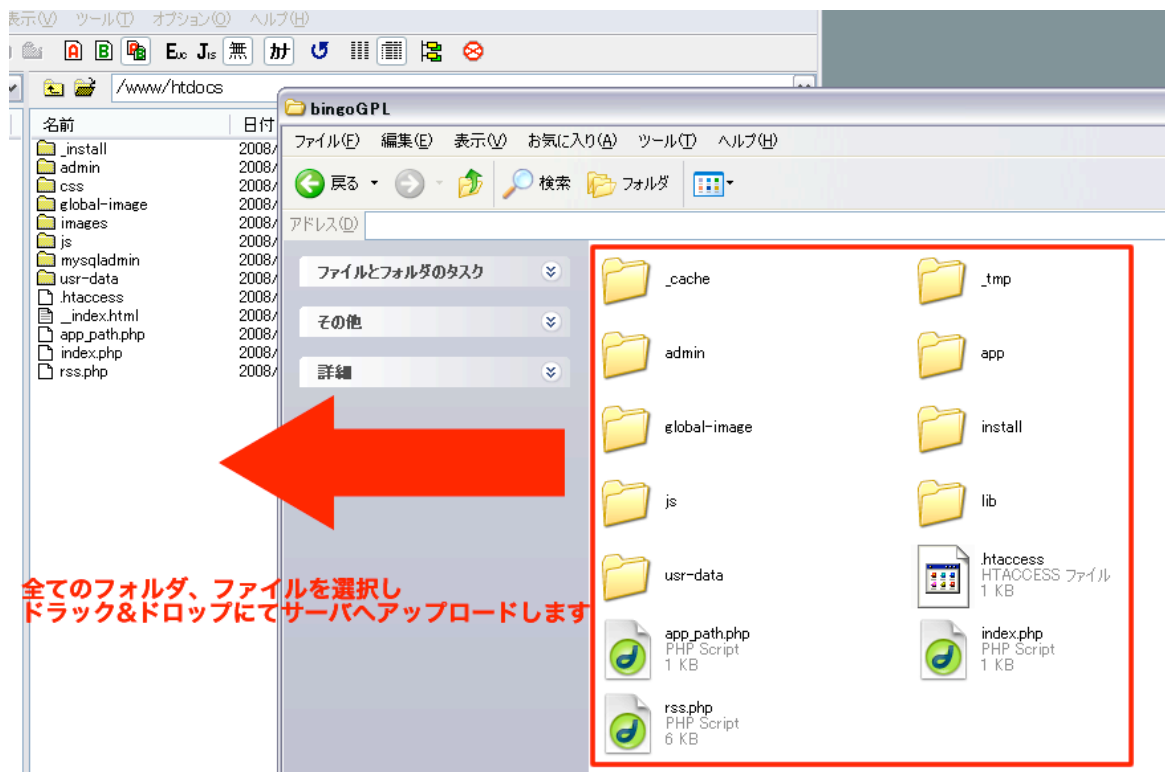
/usr-data/template/simple-black =>削除

/usr-data/template/simple-black-sec =>削除

※上記2つのテンプレートについてはVer. 1.2に最新版が同梱されているため

## bingo!CMS v1.2ファイルの展開

1. bingo!CMS core のダウンロードページ(<http://www.bingo-cms.jp/opensource/download/>)よりバージョン1.2(bingo-gpl-1.2.tgz)をダウンロードください。
2. bingo-gpl-1.2.tgzを解凍します。  
※tgzの解凍に関してwindowsをお使いの方は「解凍レンジ」や「+Lhaca デラックス版」をご利用ください。
3. サーバのドキュメントルートに設定されているディレクトリ内にv1.2の解凍ファイルを全てアップロードします。  
※置き換え、上書きの警告が表示される場合は全て置き換え、上書きします。



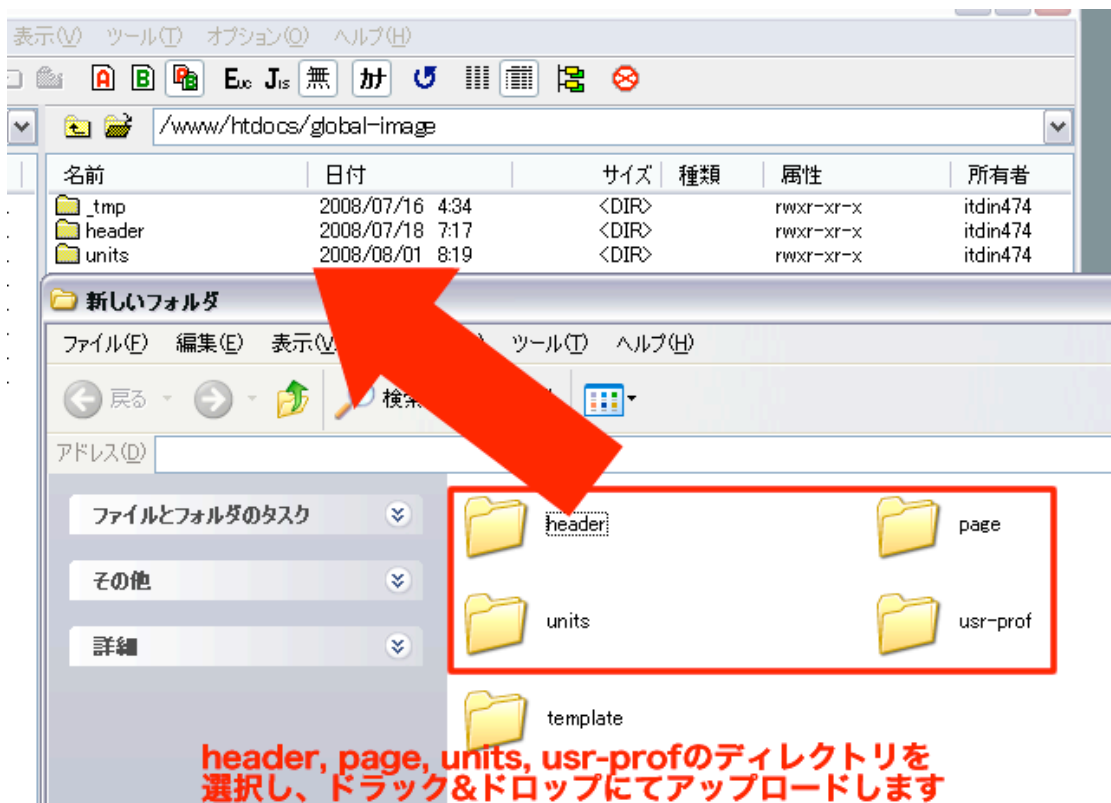
※Unix不可視ファイル「.htaccess」が含まれておりますのでMac OSX、Unix、Linuxをお使いの方はご注意ください。Mac OSX Finderの場合、コマンド+Fにて検索ウィンドウを表示させ、条件として「その他」を選択、そして条件検索にて「不可視」にて検索し条件追加すると.htaccessが表示されます。

## bingo!CMS v1.1(v1.1a)バックアップファイルのアップロード

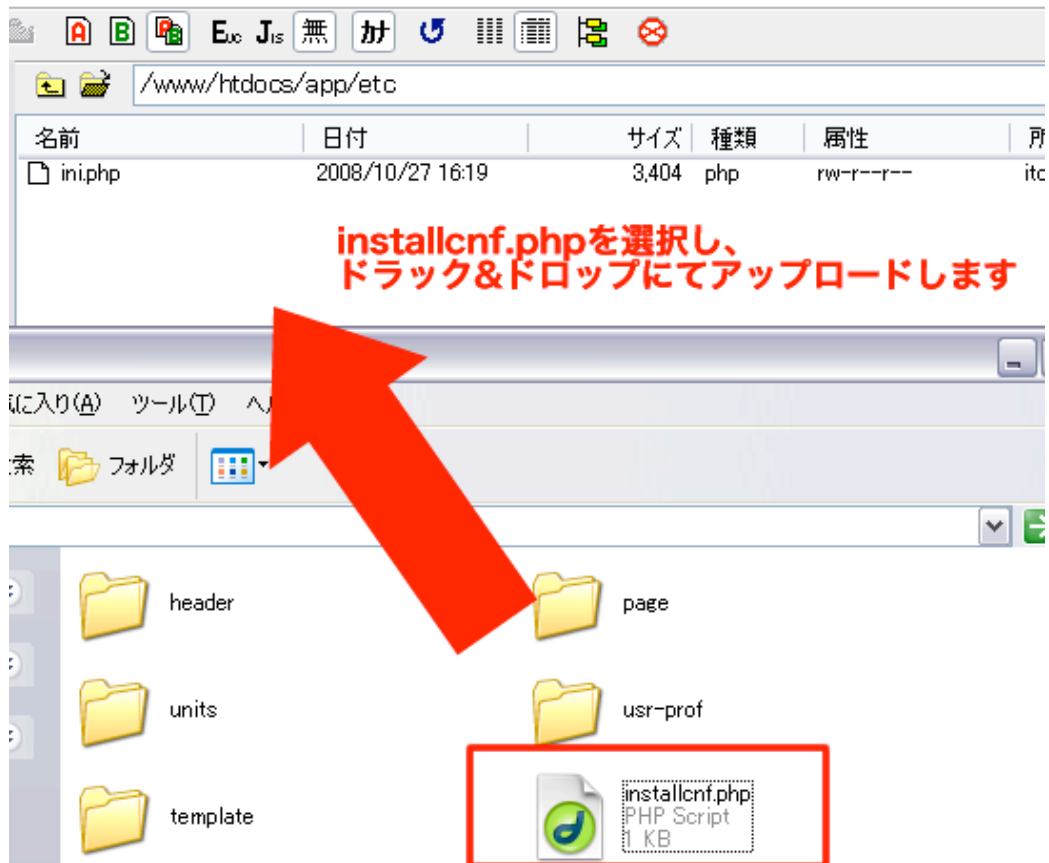
前述「bingo!CMS v1.1(v1.1a)ファイルのバックアップ」にて保存したファイルをアップロードします。

1. バックアップファイルを保存したディレクトリ/global-image/header/  
バックアップファイルを保存したディレクトリ/global-image/page/  
バックアップファイルを保存したディレクトリ/global-image/units/  
バックアップファイルを保存したディレクトリ/global-image/usr-prof/  
をサーバ上の/ドキュメントルート/global-image/にアップロードします。

※置き換え、上書きの警告が表示された場合は、置き換え、上書きを選択します。



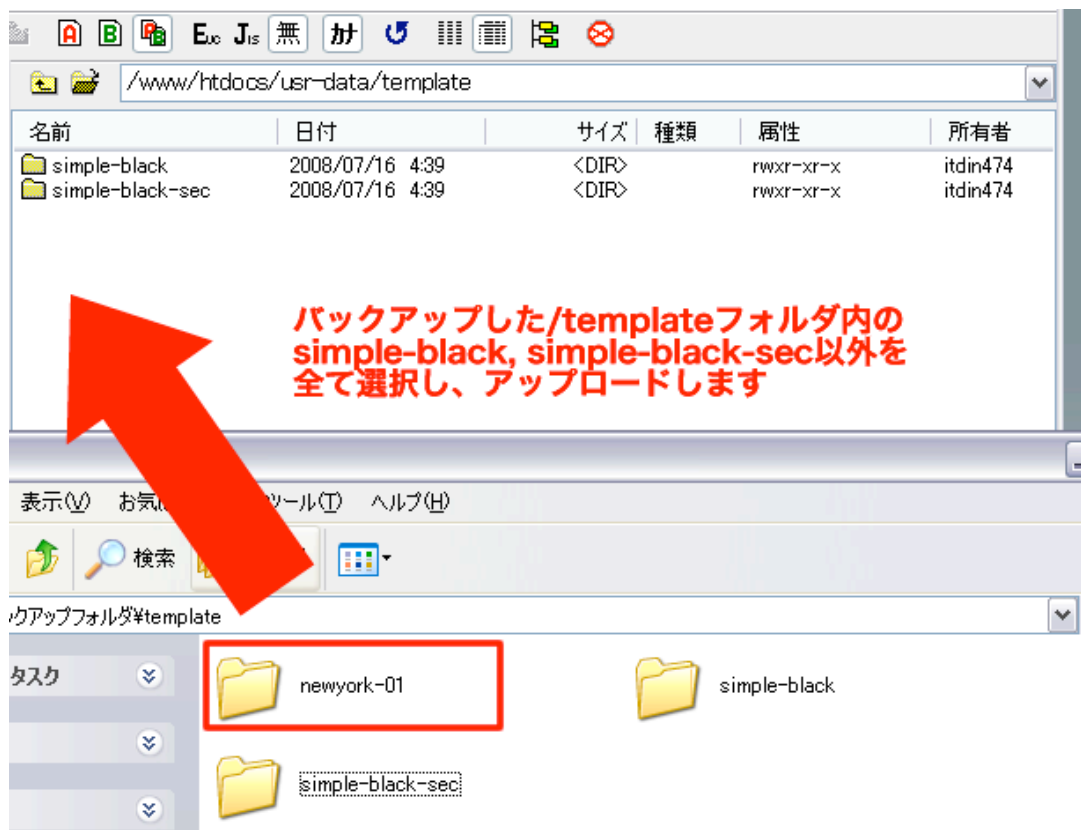
2. 次にバックアップしたinstallcnf.phpをサーバー上の/ドキュメントルート/app/etc/へアップロードします。



3. 最後にバックアップした/template/ディレクトリの内容をサーバー上の/ドキュメントルート/usr-data/template/以下にアップロードします。

※v1.1(v1.1a)をご利用中、追加テンプレートをインストールしていない場合、  
template以下は空の状態になりますのでアップロードの必要はありません。

※simple-black、及びsimple-black-secディレクトリがある場合は必ず削除いただき、アップロードしないようご注意ください。



## bingo!CMS専用 v1.1 → v1.2アップデートツールの実行

ファイルのアップロードは完了しましたので次に、データベース構成をv1.2へ移行させる  
自動アップデートツールを実行します。

バージョンアップツールパッケージに含まれているv1\_2gpl-update/フォルダをサーバー上の/admin/以下にアップロード  
し、ブラウザにて次のURLにアクセスします

[http://ドメイン名/admin/v1\\_2gpl-update/](http://ドメイン名/admin/v1_2gpl-update/)

図の画面が表示されましたら「次へ進む」ボタンをクリックしてください。

自動的にバージョンアップが実行されます。

完了のメッセージが表示されましたらバージョンアップ作業完了です。

サーバー上の/admin/v1\_2gpl-update/ディレクトリ、および/installディレクトリを削除いただき、  
ブラウザを終了してください。

## プログラム一時ファイル、およびブラウザキャッシュファイルの削除

最後にプログラムが利用している一時ファイル、およびブラウザのキャッシュファイルを以下の手順にて削除します。

1. \_tmp/admin/ディレクトリ内にあるすべてのphpプログラムファイルをFTPツール、やtelnetにて削除します。  
(例：%%76^768^768707D8%%index.tpl.phpなど)
2. \_tmp/ディレクトリ内にあるすべてのphpプログラムファイルをFTPツール、やtelnetにて削除します。
3. \_cache/AllUnits.cssという名前のファイルが存在する場合は削除します。
4. ブラウザのキャッシュファイルを削除します。

## デザインテンプレートマスタのアップデート

Ver1.2では新しいコンテナユニットが追加されています。このユニットを利用する場合には  
デザインテンプレートに関しても最新版をインストールいただく必要がございます。

<http://www.bingo-cms.jp/download/>より最新のテンプレートをダウンロードし、管理画面よりインストールしてご利用ください。